

凜と立つ

誠心一筋に生き 人の幸せの支えとなれ
多治見西高校附属中学校だより N04
2017/7/21(金) 発行

3年間そして6年間で育つ生徒たち

校長 湯原 定雄

昨日まで保護者懇談会が開かれ、保護者の皆様におかれましては、ほんとうにありがとうございました。担任からは生徒さんの学校での様子などをお伝えし、また、保護者の方からはご家庭の様子や日頃のお子様についてお感じになっていることなどをお聞きすることができ、さまざまな面で、より共有することができました。生徒の皆さんの健やかな成長には、ご家庭と学校との連携が不可欠です。ともに生徒さんを見守りながら、教育活動をすすめてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

さて、先日のこと、図書室で20名ほどの体育祭応援団の生徒たちが練習している姿を見る機会がありました。図書室は天井が高く響きがよくもあって、生徒たちの腹の底から出る力強く、きびきびとした、そして若々しいかけ声にまずは圧倒されます。

3年生は3年生らしく、下級生にきびきびと演舞の振り付けを教えています。2年生は、2年生で、やはり1年生や2年生で初めて応援団になった生徒に教えたり、一緒に練習したりしています。1年生は上級生の、その素早い手足の動きについていけず、しばし戸惑うような表情を見せながらも、粘り強く取り組んでいます。

みているうちに、ふと、「このしっかりした声で教えている3年生も、1年生の時は、今の1年生と同じだったなあ。おどおどしてたなあ」と思い出しました。彼ら・彼女らの過ごしてきた2年間の時間の重み、成長の密度の濃さを感じた瞬間でした。こうして子どもたちはわずかの時間で大人に近づいていくのだと改めて感じました。

今年の3月「〇〇君、東京大学に合格！」というニュースが中学職員室に飛び込んできたとき、中学時代から教えてきた先生方は、ほんとうに我が子のことように喜びました。中学時代の姿、そしてその成長の過程を知っているだけに、喜びもひとしおでした。

「3年間」だけでなく「6年間という長い時間」を通して、生徒たちの成長に先生たちがかかわることができる——これも中高一貫教育のよさの一つだと思います。



3年生を中心に進む応援団の練習

8月の主な予定

- | | |
|---|---|
| 3日(木) 5号館2階3教室ホワイトボード
プロジェクター設置工事
(~9日まで) | 17日(木) 課題テスト
*17日~19日学校見学会(西高) |
| 7日(月) 8日(火) 京都一流見学会
(3年生希望者・高校生希望者) | 28日(月) 始業、2限目以降授業 |
| 10日(木) 電気点検のため停電(休校) | 29日(火)・30日(水)
4限授業・午後西華祭準備 |
| 16日(水)~19日(土) 特別授業 | 31日(木) 西華祭準備(終日)
9月1日(金) 2日(土) 西華祭(中高合同開催) |

〈校長のひとこと……〉2階3教室ホワイトボード・プロジェクター設置工事がはじまります

1階教室にはすでに設置されていたホワイトボードとプロジェクターが2階にも設置されます。8月の上半旬に工事することとなりました。今まで2階と1階の環境が若干違うことに対して、それぞれの先生方は補う努力はしてきましたが、申し訳なく思っておりました。これで2階3教室でも、ipadを授業でさらに有効に活用できます。8月の特別授業から実際の授業で使います。今から楽しみます。